

第13回日本更年期医学会ワークショップ プログラム・講演要旨集

期日：平成20年2月10日（日）10：30-16：00
会場：ホテルクレメント徳島 4階 クレメントホール

ワークショップ実行委員長 苛原稔

ワークショップ事務局
〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学大学院女性医学分野内
電話：088-633-7177、FAX：088-631-2630

ご挨拶

第13回日本更年期医学会ワークショップを開催するにあたって

第13回日本更年期医学会ワークショップを徳島市で開催させていただくことになりました。

2002年のWHIの報告以降、ホルモン補充療法の有効性と安全性の論議が国内外において行われていますが、まだ一定の見解は示されていません。そこで、本邦における指針を明らかにするため、本会や日本産科婦人科学会生殖内分泌委員会においてガイドラインを作成する方向で検討が開始されています。そこで、今回のワークショップでは、本邦でのホルモン補充療法の診療指針設定に向けた検討の一環として、本邦の第一人者の先生にご出席いただいてシンポジウムを行うことにいたしました。

さらに、林先生(群馬大学)からは本邦における大規模研究であるJapan Nurses Health Studyの活動状況と中間報告について、野崎先生(九州中央病院)からは新しく発売されたエストロゲンのゲル製剤について、また高松先生(東京歯科大学)からは漢方治療についてご講演いただくことになりました。いずれも興味深いテーマであり演者の先生もそれぞれの専門家ですので、参加者の皆様には極めて役立つ内容と思います。どうか多数の先生方の活発な御討議をお願いいたします。

第13回日本更年期医学会ワークショップ実行委員長

苛原稔(徳島大学大学院女性医学教授)

第13回日本更年期医学会ワークショップのご案内

期日：平成20年2月10日（日）10:30-16:00

会場：ホテルクレメント徳島 4階 クレメントホール

徳島市寺島本町1-61(088-656-3111)

参加費：3000円(医師のみ)

問い合わせ先：第13回日本更年期医学会ワークショップ事務局

〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15

徳島大学大学院女性医学分野内(担当：安井敏之)

電話：088-633-7177、FAX：088-631-2630

e-mail: yasui@clin.med.tokushima-u.ac.jp

プログラム

開会の辞(10:30~10:35) ワークショップ実行委員長 苛原稔

教育講演(10:35~11:20)

座長:徳島大学助産学専攻科教授 葉久真理

「女性の生活習慣と健康に関する疫学調査研究(日本ナースヘルス研究)」

演者:群馬大学医学部保健学科医療基礎学 教授 林 邦彦

スポンサードセミナー(11:20~12:00) (株)ツムラ共催

座長:徳島大学大学院女性医学准教授 安井敏之

「更年期医療におけるEBMの現状 -更年期障害に対する漢方療法とホルモン療法-」

演者:東京歯科大学産婦人科 教授 高松 潔

ランチョンセミナー(12:00~12:50) バイエル(株)共催

座長:徳島大学大学院女性医学教授 苛原稔

「エストロゲン・ジェル剤による新しいHRT」

演者:九州中央病院 副院長 野崎雅裕

シンポジウム(13:00~15:55)「HRTのガイドライン作成に向けて」

司会:弘前大学産科婦人科教授 水沼英樹

「Overviewと更年期障害」 弘前大学産科婦人科 教授 水沼英樹

「心血管系疾患」 愛知医科大学産科婦人科 教授 若槻明彦

「骨粗鬆症」 国際医療福祉大学熱海病院 教授 五來逸雄

「脳機能」 独協医科大学越谷病院 教授 大蔵健義

閉会の辞(15:55~16:00) ワークショップ実行委員長 苛原稔